

立ち上がる力と大地の恵み

～災害を考える、仲間との絆、復興への挑戦～

今年の元旦に起こった能登半島地震、姉妹都市である能登町も甚大な募金活動や心温まるメッセーの入り、支援旗の贈呈は能登町の小中学生の皆さんに元気を与えたことでしょう。

災害大国日本と呼ばれる昨今、過去を振り返ると、13年前、皆さんが1歳くらいの頃、東日本大震災が勃発しましたが、実体験として記憶にある人はいないとはいえませんが、津波や原発倒壊で起こった放射能被害、この流山でも大きな影響を受けました。

災害や戦争での人の苦しみや失敗を決して風化させず、人々の心の痛みを感じることで、人を傷つけない、命を奪うような歴史を繰り返さない、そう願っています。

「Grow School」では、いわき市を訪れ、津波の被害について、実際に体験された語り部さんのお話を伺います。また、農村体験では、農家の方々の温かさや熱意、大地の恵みの有難さを感じてほしいと思います。そして、城下町である会津の歴史、特に「志」について調べてみてはいかがでしょうか。

さて、皆さんが考えた今回のスロガン『自考・絆・挑戦～仲間と共に「認め合い」の種を成長させよう～』、素晴らしスロガンで感心しました。特に「認め合い」の言葉に深く感動しました。

人間は「多様な考え方」を持っています。人は一人ひとり違っていいのです。その違いを互いに尊重することが大切です。違いを「認め合う」、そこから確かな絆が生まれると思います。

おおぐろの森中学校2年生には「人を思う心」まさに「認め合う心」が溢れています。

グロースクールには仲間を「認め合う」場面がたくさんあります。そのためには、皆さんの人の心を感じて感性を豊かにして、感動ある行事となることを願っています。私も皆さんの心をたくさん感じてきたいと思

前川 秀幸